第186回「河川文化を語る会」のご案内

講演 **日本の水系環境の管理の将来について**

講師 淺枝（あさえだ） 隆（たかし） 氏

（埼玉大学大学院理工学研究科教授）

河川の水系環境の管理を考える上では、流域の視点で考えることが重要である。日本の河川で近年大きな問題になっている樹林化も、流域と密接な関係がある。日本の河川に特有な中流域の礫河原は、流域からの絶え間ない礫の供給で支えられてきた。ところが、近年、流域での土砂生産量が低下、さらに、流域と河道の連続性が消失し、河道内への礫の供給量が減少した。これが、樹林の繁茂する結果をもたらした。こうした状況を変えることは難しく、将来にわたる持続的な管理の視点が必要である。このように、河川の環境管理において、流域の視点は、今後、ますます重要になる。一方で、日本の河川の自然は、大陸河川と異なり、独特の景観をみせる。こうした特徴は、周辺地域の魅力と合わせ、大きな観光ポテンシャルを生み出す。今後、河川を利用した、観光産業の創生が望まれる。

【講師略歴】

埼玉大学大学院理工学研究科教授、彩の川研究会副会長。
東京大学大学院工学系研究科博士課程を中退の後、埼玉大学助手、東京大学助教授、埼玉大学助教授を経て、2000年より現職。水理学、都市大気の研究を経て、現在は、河川、湖沼の生物の生理・生態現象を物理的、化学的、生物的視点から扱っている。著作は『図説 生態系の環境』（朝倉書店）をはじめ、留学生との共著の国際ジャーナル論文約150編など。

■開催日時　平成２７年１０月１４日（水）　１４：００～１６：００

■開催場所　埼玉県県民健康センター　1F「大会議室Ｃ」
（さいたま市浦和区仲町3-5-1　TEL：048-824-4801）

■交　　通　「浦和駅」から徒歩15分　「中浦和駅」から徒歩20分

■参 加 費　無　料

■申し込み/問い合わせ　氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)

公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局　　担当：高木，佐藤
TEL：03-3238-9771　FAX：03-3288-2426　E-mail：kataru@japanriver.or.jp

■申込締切　定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催：公益社団法人 日本河川協会　　共催：彩の川研究会　　後援：埼玉県

当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。
（認定番号：JSCE15-0780，単位数：2.0単位）

---------- （切り取らずにこのままFAXしてください） ----------

日本河川協会 行　　ＦＡＸ：０３－３２８８－２４２６

第１８６回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな
氏　名　　二種正会員(個人会員)・一 般・学 生（いずれかを○で囲んでください）

勤務先(記入は任意)

※職種（いずれかに○） コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行　政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL　　(　　)　　FAX　　(　　)

（※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます）

Our Life, with River 河川整備基金

当講演会は、公益財団法人河川財団による河川整備基金の助成を受けています。